

富山県ミックスフットサルリーグ 2019 大会競技規則

富山県ミックスリーグは日本サッカー協会発行のフットサル競技規則に準じます。

ミックスというカテゴリーであることを配慮し、オリジナルのルールがあります。

また、勝ち負けも大切ですが、「女性にやさしく」を基本規則とし、女性フットサラーの普及にご協力お願いいたします。

◆第1条 コート

コート作成を割り当てられたチームが第1試合開始15分前までに作成すること。

縦33m～40m、横16m～20mを基本とし、体育館の広さを考慮し作成する。

作成すべきライン及びエリアは下記の通りとする。

タッチライン、ゴールライン、ハーフウェーライン、センターサークル、センターマーク、ペナルティーエリア、ペナルティーマーク、第2ペナルティーマーク、第2ペナルティーマーク左右5mマーク、コーナーアーク、コーナーアークからの5mライン、交代ゾーン

本部にテーブル、イス、得点ボード、タイム計測機の設置、ファールカウンター

◆第2条 ボール

ボールの空気圧は0.75を基準とし、0.6～0.9の範囲とすること。

運営委員指定のボール以外は使用できない。

予備のボールを本部に置き、試合中のボールが遠方に出た時など必要に応じボールを交換すること。

◆第3条 競技者の数

ゴレイロ1名、フィールド4名の計5名。

※但し、フィールド4名のうち常に女性が2名以上居ること。

試合開始時、試合中問わず、コート内に3名以上の選手が必要。

※但し、ゴレイロ1名とフィールドに女性2名は必須となります。

※人数が3名に満たない場合は棄権とみなし、0-5の没収試合とする。

控え選手の人数には15名、ベンチに入れる役員は4名までとする。

◆第4条 出場選手の登録

(1) 加盟チームは、当連盟規約に該当し、次の各号の条件を具備しなければならない。

①前項の有する選手の登録人数は8名以上とする。

※男性5名、女性3名以上

②役員の最大登録人数は9名までとする。

(2) 登録選手には番号を付し、その番号はユニフォーム背番号と同一のものとする。

なお、番号は登録人数の枠内で1番から99番までの整数とすること。

※1番の番号を付ける者はGK登録でなければならない。

※ただしビブスでも可能とする。

(3) 追加登録に関して

追加したい試合の二日前までに、事務局のメールへ追加した申込書を送信してください。

◆第5条 未登録選手の出場 及び二重登録

発覚次第、試合を無効とし、『5・0 で対戦相手の勝利』とします。

後日発覚の場合も運営委員による協議のうえ没収試合とし『5・0 で対戦相手の勝利』とします。その場合の得点者の記録は運営委員による協議によって決定致します。

シーズン中の移籍は原則として認めません。

二重登録の防止のため、代表者は登録時に本人の意思を十分に確認してください。

◆第6条 競技者の用具

①2019 年度（公財）日本サッカー協会発行の「フットサル競技規則」に準じていることが望ましく、審判と区別がつく色～黒、濃紺以外の色を使用すること。（「フットサル競技規則」は（公財）日本サッカー協会のHPに記載）但し、その限りではない。

②フィールドプレイヤー（以下F P）ゴレイロ（以下G K）のユニフォームとして正・副があることが望ましいがその限りではない。

※最低同じ色彩の背番号付のシャツだけでも揃えること。不可能な場合は背番号付のビブス着用も認める。

※相手チームと同系色になった場合は、大会本部で用意したビブスを着用することとする。

③シャツには登録された選手固有の番号は明確な字体で判別しやすくつけること。

④インナーシャツ・スパッツについては特に規定しない。

⑤シューズは体育館用の物で靴底は紺色もしくは白色のスポーツに適した物であること。

◆第7条 審判

○各試合に同リーグの他のチームに副審、第3 審判、タイムキーパー、記録、ボールパーソンを割り当てます。

※主審は大会本部より派遣いたします。

割り当てられたチームは必ず試合開始 10 分以上前に本部に集合すること。

何らかの事情で審判が出来ない場合は、運営委員に連絡すること。

審判が出来なかったチームはペナルティとして 1 試合毎に 6,000 円の罰金とする。

罰金の納入は次回開催日までとする。

○主審及び副審

富山県ミックスリーグ競技規則ならびにフットサル競技規則に基づき、試合をコントロールする。

使用するすべてのボールを第2条の要件に適合させる。

競技者の用具を確実に第6条の要件に適合させる。

主審は本部サイド、副審は逆サイドにて判定をする。

主審と副審の判定が違っていた場合は、主審の判定が優先される。

試合開始 5 分前に第3 審判とペアになり選手チェックを行う。

ハーフタイム及び試合終了後に公式記録の確認及びチェックを行ってください。

得点が入った場合、記録係に得点者の背番号及び性別を伝えること。

直接フリーキックの反則があった場合、記録係にファールの累積を伝えること。

警告・退場の処分をした場合、記録係に警告・退場者の背番号及び性別を伝えること。

※試合前に簡単な審判会議を行いますので、主審を中心に会議を行ってください。

○タイムキーパー

タイム計測機及びストップウォッチの管理をする。

得点ボードの管理をする。

タイム計測機は主審の指示に従いスタート及びストップさせる。

ストップウォッチはタイム計測機が壊れた場合、退場者が出た場合の 2 分間の計測に使用する。

○記録

試合中の公式記録を記入

試合結果、得点者、警告を受けた選手の背番号を試合結果報告書に記入する。

○第 3 審判

交代選手が正式に交代を出来たかのチェック。

※不正交代を発見した場合は該当選手の背番号を主審及び二審に報告

試合中はファールかどうかをチェックするのではなく、接触プレーやボールが当たった場合などをチェック。

危険なプレーがあった時に相手が手を差し伸べるなど紳士的なプレーをしたかどうかのチェックをする。

ベンチでのマナーのチェック及び抑止。

◆第 8 条 選手チェック

試合開始 5 分前に両チームの選手確認を行う。

チェック項目は、背番号、名前、性別、用具(第 6 条参照)

遅れてきた選手に関しましては、試合中に第三審判がチェックし出場可能とする。

用具に関して審判の指示に従わない場合は試合への出場を認めません。

背番号、名前、性別がメンバー表と異なる場合は試合への出場を認めません。

試合中に選手の成りすましの不正が発覚した場合は即座に没収試合とします。

後日発覚した場合は、さかのぼって没収試合とします。

◆第 9 条 試合時間

12-5-12 分のプレイングタイム制とする。(参加チーム数により変更する場合もございます。)

リーグ戦の為、同点でも延長や PK はありません。

試合の開始及び終了は主審の笛により行う。

◆第 10 条 プレーの開始及び再開

キックオフは主審のホイッスルで開始すること。

キックオフからは直接得点することは出来ない。

キックオフのボールは必ずセンターマークよりも前に蹴ること。

フリーキックでは必ずしも審判のホイッスルで再開する必要はないが、審判が必要と認めた場合は審判のホイッスルで再開する。その場合、審判は競技者にホイッスルで始めることを示すこと。規定されていない理由で一時的にプレーを停止した場合はドロップボールにて再開すること。

天井にボールが当たった場合は最後にボールに触れたチームの相手チームにキックインにより再開する。

◆第11条 得点

女性の得点は1 ゴール 2 点とする。

PK 及び第 2PK においても女性の得点は1 ゴール 2 点とする。

※但し偶然当たったボールに関しましては、シュートを打った人のゴールとします。

◆第12条 ファールと不正行為

○スライディングタックル

禁止とします。

但し、相手に当たる可能性が無いスライディング(シュートブロック、パスカット等)であれば認められます。

ゴレイロはペナルティーエリア内であれば、相手(ボール)に向かうスライディングが認められます。

○キックイン

ボールは審判が示す位置より **25cm** 以内に静止した状態で始めて下さい。

軸足はピッチ外もしくはラインを踏んでいること。

違反の際は相手ボールのキックインとなる。

直接シュートは得点にならない。相手ゴールに入った場合は相手のゴールクリアランス、自陣ゴールに入った場合は相手のコーナーキックとなる。

○ゴールクリアランス

ゴレイロが手で投げること。

ペナルティーエリア内に居る味方にはパスをしてはいけない。

上記 2 つの場合、プレーのやり直しとなる。

※その際の 4 秒カウントはリセットされません。

○5m ルール

キックイン、コーナーキック、フリーキック時に相手チームの競技者は **5m** 以内に近づいてはいけない。

審判の注意に従わない場合は警告とする。

○4 秒ルール

キックイン、コーナーキック、フリーキック時にキッカーはボールが蹴れる状態になってから 4 秒以内に蹴らなくてはならない。

キックインの場合は相手チームのキックインとなる。

コーナーキックの場合は相手チームのゴールクリアランスとなる。

フリーキックの場合は相手チームの間接フリーキックとなる。

○ゴレイロの 4 秒ルール

ゴールクリアランスは投げられる状態になってから 4 秒以内にしないといけない。

自陣側ハーフコートではゴレイロはボールを 4 秒以上保持してはいけない。

上記 2 つの違反の際は相手チームの間接フリーキックとなる。

○ゴレイロへのバックパス

下記条件を満たすとバックパスは認められるが、バックパスをゴレイロは手で扱ってはいけない。

- 1.相手チームの競技者がボールに触れる。
- 2.キックイン、フリーキックでのリスタート。

一度ボールに触れた後は再度上記の条件を満たさないといけない。

違反の際はゴレイロがボールに触れた位置からの間接フリーキックとなる。

但し、ペナルティーエリア内の場合は、縦に直線上のペナルティライン上からの間接フリーキックとなる。

○パワープレーの抑止

女性プレイヤーがなるべく多くボールに触る回数を増やしたいため、パワープレーを抑止させていただきます。
ゴレイロが相手陣地への侵入することを禁止いたします。

侵入した場合、その地点から間接フリーキックといたします。

◆第13条 警告(イエローカード)となる違反

相手の服を引っ張る。

言葉、行動によって異議を示す。

繰り返し違反をする。

プレーの再開を遅らせる。

5m ルールを守らない。

選手の交代のルールに違反する。

その他、反スポーツ的行為。

◆第14条 退場(レッドカード)となる違反

著しく不正なプレー。

乱暴な行為。

相手の競技者や他の人に唾を吐く。

相手の決定的な得点の機会に意図的に手でボールを扱い阻止する。

攻撃的、侮辱的、または下品な発言や身振りをする。

同じ試合の中で2つ目の警告を受ける。

◆第15条 退場

イエローカード2枚もしくはレッドカード1枚で退場となるが、2分後に選手を補充可能とする。

但し、2分経過前に得点があった場合は次の条件が適用される。

人数が多いチームが得点した場合は2分を待たずに補充が可能とする。

人数が少ないチームが得点した場合はそのまま2分を計測する。

◆第16条 ファールの累積

直接フリーキックに相当するファールをハーフタイム単位で累積し、3回目のファールからは第2PK又は壁無しのフリーキックといたします。

キッカーは必ずシュートをしなければならない。

ゴレイロは5m以上離れること。

◆第 17 条 女性プレイヤーへの配慮

女性への接触プレーによる転倒やボールを当てる等の行為に対しては厳しくファールを取ります。

- 1.女性への激しい接触プレーに関しましては、適切なプレーでもファールとさせていただきます。
- 2.女性が反応できないシュート及びパスを女性プレイヤーの上半身へあてた場合は、敵味方問わず直接フリーキックに相当するファールとさせていただきます。

※1 回目でイエローカードの提示、2 回目はレッドカードを提示いたします。

◆第 18 条 空き時間のコート利用

試合開始前は次の試合の該当チーム以外は使用禁止とします。

ハーフタイム中は次の試合の該当チームでご使用下さい。

次の試合の該当チームはアップゾーンを使用してください。

◆第 19 条 体育館の破損

体育館及び備品の破損については該当チームが弁償する事とする。